

2024年度 教育課程編成委員会  
報告書

学校法人日産学園 専門学校  
日産栃木自動車大学校

# 2024年度 第1回目 教育課程編成委員会 開催記録

## 1. 日時、場所

2024年7月4日（水）10:00~12:00

日産栃木自動車大学校 多目的ルーム

## 2. 参加委員

外部委員	菅野 好一	栃木日産自動車販売（株）営業本部 アフターセールスグループ次長
	友善 直樹	日産プリンス栃木販売（株）営業本部 営業支援グループ課長
	木村 俊宏	（株）茨日ホールディング 人財開発部 教育グループ 課長
	石原 友則	栃木県自動車整備振興会 教育技術部 技術課長

内部委員	中村 光之	日産栃木自動車大学校 校長
	高橋 真	同上 教育部 部長代理
	渡辺 禎	同上 教育部 教務課長
	羽井野 昌能	同上 学務部 広報課長
	川上 宏美	同上 学務部長

オブザーバー	本廣 好枝	日産・自動車大学校 学長（日産学園 専務理事）
	岩田 利興	同上 教育企画部 部長代理（オンライン参加）

## 3. 会議次第、議題

1) 校長挨拶

2) 委員紹介

3) 校内視察

4) 各課題について論議

(1) 2023年度 国家（登録）試験 受験結果報告と本年度の資格取得の取組

一級、二級国家試験結果の報告および、本年度の主要な取組について論議。

(2) 増える留学生対応、授業態度改善の取り組み

・留学生の入学が増え、今後も増加することに対する対応について論議。

・多様な学生に対する対応を含め、授業を受ける姿勢の改善に対する取り組みについて論議。

(3) 日産の技術教育 EV・ADAS の取り組み

・EVマイスターの卒業時付与の検討、ADASについて、日産自動車からの出張授業について報告。

・日産開発施設の見学、栃木工場の見学の検討状況を報告。

(4) 自動車整備士新課程対応状況

2025年度4月より実施される二級自動車整備士（総合）課程の準備状況の報告。授業内容について論議。

4. 配布資料

上記各課題についてそれぞれ資料あり。

以上

# 議事録

## (1) 23年度 国家(登録)試験 受験結果(高橋)

【一級】 筆記・口述共に全員合格。

低位学生の仕上げに工数がかかる。留学生の口述試験には、日本人の数倍の時間がかかる。

【二級】 1名がGD不合格 99% (G,D別でも、同様)

留学生の低位学生は日本語対応に加え、車への興味が薄い等最後の追いこみに課題がある。

### ①論議

石原委員) 二級 NG の学生のフォローはどうやっているのか

高橋) 10月の試験に向け、学校に呼び出したりしてフォローしている

中村) この留学生は1点不足で不合格となった。いい線まで来ていたのでもう少し頑張れば合格できると考えている。

菅野委員) 留学生の口述試験対応は4日間で練習時間は足りたのか。

高橋) 記録簿の説明のみならず、構造理解など含め1週間で足りている。

対象の留学生は、会話は不得意だったが、何とか合格できた。

専任を付けてトレーニングできたので、1週間で合格レベルまでもっていった。

中村) 在学中にある程度仕上げているので、日本人なら、卒業後数日で足りている。

渡辺) 日本人は、良いが、留学生は最後の1週間の仕上げが重要になる。

木村委員) 卒業生全員が受験し、99%合格できたのは素晴らしいと思う。1名の不合格者の再受験は、GD両方受験した方が、合格できる確率は上がるのではないか。

高橋) 今後の受験調整で考える。

中村) 日産5校の共通試験で各校の受験準備の進みを見るが、栃木校の状況はかなり厳しかった。

最後、教員の追いこみで持ち上げて成果をあげた。ただこれはイレギュラーなやり方。低位の学生以外は、日常の授業の中でレベルを上げていくように考えており、今期の取り組みにつながっている。(※(3)授業態度改善の取り組みの項参照)

## (2) 増える留学生対応 (高橋)

①現在、在校生404名中、留学生は145名(36%) 1年では留学生比率は42%になっている。

②FY23から、国際科1年は、日本語学校の出張授業を実施(2時限/週)日本語低位は教員での対応に仕訳した(伸びしろの大きい留学生を日本語講師にお願いした)。

更に、スピーチ大会を実施し人前で話す事を訓練。

③日本人との混成クラスとして、実習でも日本人と留学生を混成にして会話力の向上を狙っている。

PCでローマ字を打つことでも日本語の理解は深まる。

④栃木校の教員に対して、「やさしい日本語講座」を7月末に開催予定(留学生に伝わりやすいコツを学ぶ)

## ①論議

木村委員) 5年、10年後の留学生事情をどう考えているのか(国も変わりつつある)留学生が来なくなる時期がこないのか。

羽井野) 5年位は今の延長か。10年先には留学生の国が変わる(アジア→アフリカ)と考える。

今は、スリランカ、ネパール、ミャンマーの順番で留学生は多い。

友善委員) 留学生の宗教的な制限について、学校も把握しているのか?

羽井野) 当校ではイスラムの学生は今は少ない。バングラディシュはイスラムが多く規制も多くなる。

友善委員) 1日何回も礼拝するとか、そうした事への対応も必要かと考える。経験が乏しいのでそうした必要があれば、教えてくれると助かる。入社してそうした対応を相談してくる人もいる。(礼拝に行く曜日等)

渡辺) かつて礼拝の場を設けた事もあるが、時間の制限までは無かった。

羽井野) 気にかけておく

菅野委員) 礼拝の場等、日本の慣習に併せてくれる人も多く、あまり気にしなくてもいいと今は感じている。

お客さまの留学生への反応も、意外と悪くない。もっと留学生もお客様対応させていいと感じている。実際、現場でしっかりお客様対応が出来ている外国人もいる。

石原委員) 留学生と日本人のコミュニケーションはどうなのか。

高橋) 人による。積極的な留学生もいれば、なじみにくい者もいる。

中村) 日本人と留学生の混成クラスとしているので日本語が上達してくる、日本人の友達ができるとか、休日に一緒に出かけたりしている。留学生と日本人のコミュニケーションが活性化している。

石原委員) 振興会にも外国人の方もいるが、宗教的習慣も日本に合わせて比較的柔軟に対応している人も多い。

## ②まとめ[今後以下を検討し、次回にその進捗を報告する]

- ・教員向け「やさしい日本語講座」の実施内容報告

### (3) 授業態度改善の取り組み(高橋)

①卒業生アンケートを見ると、技術及び会社での日常的な姿勢の評価が昨年アンケートでは多くの項目で低下している。原因は学生の授業への取り組みが良くなり、しっかりした知識技術を身に付けていないと考えた。

その改善の為に、授業態度改善の取り組みを開始。FY24から態度点を導入(悪いと面接指導)教員の感触では、昨年度より改善している。実際に統括教員、部長代理が面談した事例も出ている。

#### ②期末テストのやり方の変更

FY23から1年は中間テストを実施(範囲を分散) 2年生は法規と工学を集中授業し即試験実施。平均点は中上位の学生が向上して全体も上がったが、不合格者数は変わらず、低位の学生対応は難しい。

#### ③多様な学生に対応するため教員の対応力向上のための講座を実施。

学習障害への対応等を学ぶことで、教員の学生理解も深まっている。

#### ①論議

石原委員) 教員の方も大変だと思う。下位の学生対応がやはり課題か。

高橋) 下位の学生はやはり個別対応。中上位の学生を手がかからないようにして、下位に手を注ぐ。

中村) 試験の方策は中上位は頑張ればしっかり得点がとれて「やればできる感」をつくっている。この方策は「やってもできない、やらない」学生のあぶり出しに使える。あぶりだされた学生には個別対応により知識、技術を教えていく。

菅野委員) 新入社員の意識づけの為に、会社では、お金をもらって学んでいると話をしている。店長がどう思うかで、社員に研修を受けさせているのか考えるよう話をしている。日産資格の対応も、受験者の意識のばらつきが出てきている。いろいろな社員がいる中、やはり、個別にどう対応していくかがカギだと考える。

友善委員) 態度点については、認知されていれば、効果があると思う。

高橋) 中上位の学生には、効果を感じている。

木村委員) 態度点は全員に FB するのか? 出来ている人も評価すればモチベーションが上がるのではないか。

高橋) 上位の学生も、全員の前で氏名を出すことには、未だためらいもあるが、何らかのモチベーションアップにつなげる策は考えたい。

#### ②まとめ[今後以下を検討し、次回にその進捗を報告する]

- ・ 授業態度点の運用状況報告 (効果等)

#### (4) 日産の技術教育 EV・ADAS の取り組み (高橋)

①EV リーダーシップ (EV マイスターの卒業時付与) の検討、ADAS について、日産自動車からの出張授業。

②日産開発施設の見学、栃木工場の見学、を検討。

#### ①論議

木村委員) ここまで資格が取れるのはうらやましい。ただ、入社してしばらくは、バッテリーに触らない期間があり、いざ作業する際にポイントを忘れていてトラブルを起こさないか心配。

友善委員) バッテリーの作業は必要性も高まっており、良い取り組みだと考える。N B C の受講枠が限られているので、学校で資格取得してくるのはありがたい。

菅野委員) ADAS までやってもらえれば、入社してからの経験値になり良いと思う。

石原委員) ここまで資格が取れば、素晴らしい。

中村) ADAS 等、先進技術の取り込みは、教育企画部がセンターで日産自動車と調整している。

岩田) 現在、EV について日産自動車と調整しており、準備に費用も掛かるが、25 年度トライアルに向けて実施可能と考える。

ADAS については、日産自動車も具体的な教育カリキュラムが無いが、今後調整していく事で協力している。

②まとめ[今後以下を検討し、次回にその進捗を報告する]

- ・ ADAS 等最新技術授業実施報告
- ・ 日産開発施設、生産工場見学報告

### (5) 自動車整備士新課程対応状況 (渡辺)

①9月に3級。12月で1年次分を完成させることで日産校全体として取り組み中。

②教科書の構成が大きく変わっており、これに併せて、授業を構成していく。

今後、10月発刊の新2級教科書の解析、対応を行っていく。

#### ①論議

石原委員) だいぶ進んでいると感じる。新教科書の発刊も予定通りに進むと思う。

菅野委員) 販売会社として、社内教育でどう対応するかまだ未決定。

渡辺) 試験時期、科目が変わることが一番の変更。

木村委員) 新人の人が二級未取得で来ることを一番心配していたが、この状況を見て安心した。

②まとめ[今後以下を検討し、次回にその進捗を報告する]

- ・ 新課程対応状況の報告

### 校長コメント (中村)

新課程対応について、他校では、取り組みが遅れているところもあるようだが、日産校は渡辺がセンターとなり5校全体で着々と進めている。

本日は貴重なご意見頂きました。本当にありがとうございます。今日頂いた皆様方のご意見は、真摯に受け止めて教育の改善につなげていく。

栃木校の方針は、簡単で3つしかない①多くを入学させ、②きちんと教育し、③多くを日産販社に入社させる。それを学内の機能軸で方策を立て、実行し、PDCAを回していくので、皆さんから頂いたご意見をそこに反映させていきます。

今日も、長野日産、松本日産が授業を見に来てくれているが、学校も早期から学生と日産販社とのタッチポイントを多くつくり、学生を日産販社に目を向けさせていくので、今後も様々な場面でご協力をお願いしたい。

### 学長コメント (本廣)

栃木校が頑張っている事が実感できた。また、各委員からのお話を聞いて、進めている方向が間違っていないということも確信出来てよかった。今後とも、ご協力よろしくをお願いしたい。

—以上—

# 2024年度 第2回目 教育課程編成委員会 開催記録

## 1. 日時・場所

2025年3月7日（金）14:00～16:00

日産栃木自動車大学校 多目的ルーム

## 2. 参加委員

外部委員	菅野 好一	栃木日産自動車販売（株）営業本部 アフターセールスグループ次長
	友善 直樹	日産プリンス栃木販売（株）営業本部 営業支援グループ課長
	木村 俊宏	（株）茨日ホールディング 人財開発部 教育グループ 課長
	石原 友則	栃木県自動車整備振興会 教育技術部 技術課長

内部委員	中村 光之	日産栃木自動車大学校 校長
	高橋 真	同上 教育部 部長代理
	渡辺 禎	同上 教育部 教務課長
	羽井野 昌能	同上 学務部 広報課長
	川上 宏美	同上 学務部長

オブザーバー 岩田 利興 日産・自動車大学校 教育企画部 部長代理 （オンライン参加）

## 3. 会議次第、議題

### 1) 校長挨拶

### 2) 各課題について論議

#### (1) 24年度 資格試験結果、及び国家試験 進捗報告

日産資格試験の受験結果報告と国家試験受験対策の進捗について論議。

#### (2) 産学連携の取り組み

1) TS 技術授業（1年次）の実施報告と、次年度実施時期、目的について論議。

2) TS 技術授業（3年次）の実施報告と、次年度実施時期について論議

#### (3) 2024年度第1回教育課程編成委員会の課題進捗

第1回委員会における課題の進捗報告。

#### (4) 1学年販売会社様見学 反響報告

販売会社による授業参観（オープンスクール）実施の反響を報告。

#### (5) 自動車整備士新課程対応状況報告

2025年度4月より実施される二級自動車整備士（総合）課程の準備状況の報告。授業内容について論議。

#### 4. 配布資料

上記各課題についてそれぞれ資料あり

以上

# 議事録

## (1) 24年度 国家（登録）試験等受験状況（高橋）

【日産資格】 TS2級全員合格、TA3級全員合格、TS3級6名不合格

【国家資格】 筆記試験3月23日 残り2週間、集中力を切らさず学習を継続する。

①一級 10月より模擬試験、1月より本格稼働。

低位学生の集中力続かない。総合点が安定しない状況。

②二級 1月より本格特訓。

科目別プリントで積み上げたが、総合点数の伸びが悪いため、不正解を即把握できるようにして改善に努めている。教科書の該当ページを示して調べやすく改善。

## ・論議

菅野委員) 卒業試験の結果（80%合格）はこんなものか？

高橋) こんなもの。日本人の方が不合格者が多い。緊迫感がなかなか伝わらないことが要因。

中村) 41名不合格の20名弱が留学生だが、全体の留学生の数も相対的に昨年より少ない中で約半数が留学生ということは、やはり留学生の仕上がりは良くない。留学生には、再試に向け、卒業できないことを話して緊張感を持って取り組ませる。

渡辺) 留学生は、受験者の多くが不合格。80%での合格にしているので難易度は高い。

木村) 卒業判定は最後1回、2回の間が無いが、大丈夫か。

高橋) 日程ぎりぎりの中でやっているためだが、なんとかやれている。

石原) 試験中の飲料の扱いだが、試験用紙を濡らすと予備がないのでNGとさせていただきたい。

過去、卒業試験NGで卒業できない人はいたか？

高橋) いない。

中村) 過去、他校に私がいた時代に、卒業試験NGで卒業できない人がいた。しかし、国家試験を全員受けさせないことで、学校が足切りしているといわれることがある。この段階では卒業させて、国家試験に臨ませるのが学校の責務と考えるし、世間的にもそうした見方がされていると考える。

## (2) 産学連携授業の取り組み（高橋）

①TS技術授業（1年） 現役のTSから学び今後活かす。→満足度高く目的通りの成果を得た。

→次年度に向け産学連携の教育活動と日産販社志望率向上の両面でやり方を変えたい。

11月後半の実施として、

・1案（1年、国際2年）180名対象【定期点検実習に重ねる、入社試験後になる】

・2案（国際1年、工学科2年）132名対象【入社試験前、定期点検実習未実施】

いずれにするか、意見を伺いたい。

②TS技術授業（3年）TSから故障診断を学ぶ（12月）→満足度高く目的通りの効果を得た。

→次年度50名で1台に8名体制だが、モニター等を使用し継続したい。また、就職活動を睨んで9月辺りの時期変更を考えている。

・論議

友善委員) 1年については、夏が難しければ、9月か10月ではと考える。

高橋) 販社の就職対応を考えての提案

友善委員) 1年には、6月に学校で一度やっているが、そこと絡めることはできるか。

中村) NML授業として内容がEV、スポーツカー、先進技術と決まっており、変更が難しい。

木村委員) ほかの学校では、留学生と日本人を分けることで、特徴的な質疑の対応ができています。

そういう対応も考えられるのでは。当社としては、時期的には問題ない。

菅野委員) 1案で2回転するとかいうのは問題ない。留学生と日本人を分けるなら、それにあったTSを連れてくることもできる。

中村) 日本人と留学生を分けるというのは、良いアイデアだと思う。

高橋) であれば、夏休み明けに入れられるか、考えたい。

中村) 工学科は、メーカー系に多く流れる。2案にて工学科2年からもっと販社に目を向けさせたい。工学科は3年時にはすでに就職希望を固めてしまっているので、工夫してみたい。

石原委員) 学生にとっては良い機会だと考えるので、継続してほしい。

**(3) FY24 第1回教育課程編成委員会で報告した取り組みの進捗 (高橋)**

①教員向けの日本語講座

留学生に言葉を教える難しさが必要な視点を学んだ。→3月27日に時間不足分WSを追加実施。

②態度点運用 (半期に1回の学生へのFB)

→次年度四半期評価公開しモチベーションアップを図る

③日産の技術教育 (ADASは未実施)

GAS (NML) による最新整備技術講座に変更して開催 (4年生)

④栃木工場見学 (電動パワートレイン工場) 3年生代表8名

一般見学ルートと異なり通路が狭く、人数が多くなる学年単位の見学は不可。

⑤教員対象 (開発実験現場の見学)

秘匿箇所が多く学生の見学はできないが、教員対象に今後も順次教員見学を調整したい。

⑥頭髪指導の変更 (自由度の向上)

コミュニケーションは取りやすくなった。就職活動時で切り替えるが、動機付けはし易い。

・論議

菅野委員) 頭髪等、会社訪問時に特段、目立った人はいなかった。

ただ、マスクの下はよくわからない。

中村) 一般校の身だしなみ、頭髪、髭はどうでしょうか？

菅野委員) そんなに、茶髪だらけとか、そういう印象はない。

中村) 身だしなみ基準を変えて1年たった。基本は清潔感を大事にする、他者に不快感を与えないという趣旨で学生には説明している。18歳で成人となり専門学校で学んでいる学生に対して、頭髪など強制することが彼らの自主性を削いでいると考えている。したがって頭髪も髭も自己責任で行うように伝えている。ただし、入学時には、お客さまスタンダー

ドのレベル（手本）は一応教えている。

中村) EV リーダーシップということで EV バッテリー脱着授業を FY25 から計画している。  
FY24 はその準備を行った。今後、バッテリー専用リフトなど購入予定。

#### (4) オープンスクール= 販社採用担当の授業参観 (羽井野)

昨年は、25 社参加。会社訪問のきっかけづくりとなっている。

##### ・ 論議

石原委員) こういう活動は良いと考える。

菅野委員) 学生とコミュニケーションがとりやすくてよい。

木村委員) 実習授業を見たことが無い採用担当が学校に対する知見が広がった。販社側でも勉強になる取り組み。

中村) 東北販社は、以前は留学生に興味がない状態だったが、TS 不足から留学生採用にも積極的になってきており、FY25 は東北からも留学生採用のためにオープンスクールなどの来校が増えると考えている。

#### (5) 自動車整備士新課程対応状況 (渡辺)

①25 年 4 月より、自動車整備新課程 (2 級) が始まる。

対応する授業カリキュラムを作成している。12 月で 1 年次分完成。1 月より 2 年次分着手。  
登録試験が 3 月の第 2 日曜日に試験日が早まる。

##### ・ 論議

渡辺) 教科書の内容は大きくは変わっていないが、二輪が細部まで取り込まれている。二輪に関しては旧課程の二輪の過去問をベースに勉強するのかと考える。

木村委員) まだ準備はしていない。二輪については、今後、学校に教を乞うかもしれない。

渡辺) 現状二輪が未実施の場合、教材等新たに必要になる。ご協力できることはあると思う。いつでもお問い合わせください。

#### 全体を通しての Q&A・意見

中村) 日産販売会社では新技術の IPAD でのテックスレイビジョンにて偽装図確認等出来ているのか？

菅野委員) IPAD は下期導入とされているがまだ。

木村委員) 2 店舗進めている。450 台必要に対し、まだ 10 分の 1 の対応。

友善委員) まだ使えていない。NML は次年度から 1 台/1 人とされているが、そこまで必要かともいわれている。

中村) 内定者研修 (夏休み) については、就職の会社訪問とも重複するため、販社からの要望で実

施させてもらっているのご承知おきいただきたい。

中村) NML の騒動もあり、日本人の OC 参加者は減少傾向。販社にも影響は出ているのか？

友善委員) 土日のフェアの来場は減少と聞いている。

菅野委員) お客様からの厳しい声、励ましはある。来店は減少傾向。

木村委員) 内定者から「大丈夫か？」の問い合わせはある。

## 校長コメント

本日は貴重なご意見頂きました。本当にありがとうございます。今日頂いた皆様方のご意見は、真摯に受け止めて教育の改善につなげていきます。TS 授業についても実施に前向きなご意見をいただき大変感謝いたします。日産に逆風が吹いている今こそ、振興会、日産販社、学校で力を合わせて、人財確保に努めたいので、是非、今後ともご協力をお願いしたい。

—以上—